

第9回米原市定例教育委員会

日 時：平成20年9月22日
15時00分開会
場 所：米原市役所山東庁舎
3階 第2委員会室

出席者 教育委員：山岡委員長 松蔭委員 堀田委員 河居委員 瀬戸川教育長
教育委員会事務局：中谷教育部長
教育総務課：馬淵課長 上村課長補佐
学校教育課：山本課長
※稲村教育センター所長 藤木研究員
まなび推進課：児玉課長 丸本統括参事
※こども家庭課：安食課長 村田参事

書 記 藪田

(※印については関係議案のみ出席)

1. 委員長あいさつ

山岡委員長よりあいさつ

2. 事務局からの報告

①教育総務課より概要説明

委 員：山東西小学校の体育館補修は、どのようなものか。

事務局：体育館の雨漏れ、室内の通路および外壁の補修である。

委 員：大東中学校のふるさと農道が開通し事故が多いので、信号機が必要ではないか。

委 員：地域において要望活動が行われている。

②学校教育課より概要説明

委 員：米原市立幼稚園および小中学校のあり方に関する検討委員会について、小規模化が進む中で中学校が抱える課題も多くなってくる。望ましい学校規模を目指しての「米原市で考えられる学校選択制」はどのようなものであるか。

事務局：東草野小中学校の問題については、平成24年5月1日の状況を踏まえて、平成25年度以降のあり方を見直すことが望ましいという答申をいただいている。課題のある学校については保護者懇談会で話し合う予定である。学校選択制については、学区の再編等を提案して進めていく必要があり、小学校では、単一学級である学校が6校あるので保護者の話を聞いていく予定で、中学校についても、学区再編や学校選択制を含めて検討する予定である。望ましい学級は、1学級18人から20

人である。小学校は、単一学級も考えられるが、中学校は、複数学級でないと授業・部活・人間関係の面で難しいところがあると考え。

委員：難しい問題であるが、適正な人数・規模を示して進めていただきたい。

③まなび推進課より概要説明

委員：芸術展の検討委員会で、職員のボランティア支援がほしいという意見があったが、地域の事業や市の事業で職員が参加しているのをよくみるが、職員は、ボランティアであるのか、仕事として行っているのか教えていただきたい。

事務局：全くボランティアのものもあるし、教育委員会が所管して実施しているものは、事業について中心的な役割を担う必要があるので、代休扱いで実施しているものもある。

委員：夏に近江子ども会で球技大会を行った。今回は中学校の野球部やバスケットボール部が審判を行ってくれて運営がはかどった。中学生も部活で忙しいが、地域に活動してくれるのはよいと考える。今回は世代間のコミュニケーションもできてよかった。

委員：中学校が地域で活躍する場の検討はお願いしたい。できれば中学生に任せる部分をつくり幅広く活躍できる場がよい。

委員：旧伊吹の体育祭や夏まつりでも中学生が自主的な活動を行ってくれた。中学生が地域の行事に参加してくれるのはよい。

事務局：10月の校園長会議で話をしたい。また、中学生が地域の行事に参加できるように学校から働きかけを行いたい。

3. 議題

議案第47号 工事請負契約の締結について（東部給食センター建設工事）

議案第48号 工事請負契約の締結について（東部給食センター機械設備工事）

議案第49号 工事請負契約の締結について（東部給食センター電気設備工事）

事務局より概要説明

原案どおり承認

議案第50号 米原市一般会計補正予算（第3号）教育関係について

事務局より概要説明

原案どおり承認

議案第51号 米原市地域密着型体育施設の整備方針について

事務局より概要説明

委員：体育施設は、財政を伴うので難しいが、体育の振興・親睦・仲間作りにもつながるので前向きに努力いただきたい。

委員：スポーツ愛好家から地域に体育館・グラウンドは1つまたは2つほしいとの要望がある。しかし、すべての地域に体育館・グラウンドを設置することは、今の財政状況では難しい。設置するには説得力が必要である。

グラウンドは、山東につくればどの地域にもあることになる。体育館は、近江・米原でつくる話もあるが財政的に難しい。身近な学校の体育館の利用を推進する必要がある。体育館等について、運用は、学校の権限をはずし社会体育ですすめる必要がある。そのことにより市民が利用しやすい施設になるのではないか。学校での管理・運用は人的また時間的に難しい。身近な体育施設としてどのようにできるか検討していきたい。

委員：学校の体育館を社会教育施設にすることは、設置基準上問題ないのか。

委員：体育館は学校の施設であり、運用面で検討していきたい。財政を伴う施設関係はその他幼稚園・保育園の問題もある。

事務局：更に他の学校の耐震補強の課題もある。

委員：耐震が一番と考える。

原案どおり承認

議案第52号 米原市幼保一元化推進プランについて

事務局より概要説明

委員：基本目標「感性を育てる幼児教育・生きる力を育てる学校教育の充実」・「家庭の大切さや子育ての素晴らしさを伝える」ことは大事である。基本理念の「福祉と教育が一体」となった子育て・子育ての支援に取り組む等は、0歳から5歳を見とおしてのことと思う。0歳から3歳は保育というものが重点になり、3歳から5歳は、午前中においては教育に力をいれたカリキュラム、それ以外は保育となり切り替えが大事である。国でも健康面で小学生から検討しては遅く、3歳児から計画的に取り組むよう検討されており、また、心の発達も3歳児から力を入れていくことが大事といわれている。3歳児からは教育に重点を置いたカリキュラムに十分に配慮してほしい。

その他、職員については、明日の子ども一人一人の教育を研究していただく時間的な確保、また、共通して研修を受けるための時間的な確保や財政的援助をしてほしい。

幼保一元化については、両親が外で働く環境の中では大切な役割であり、また家庭において保育ができる状態であれば、家庭教育の働きがけも重視してほしい。

委員：幼稚園・認定こども園は、市内の園区がいらぬのではないかと思います。

旧米原をみると、息郷・醒井の施設は、老朽化が進んでいるので早期の対応が必要である。全体的に子どもの人数、施設老朽化、財政状況も含めて考えていただきたい。

原案どおり承認

議案第53号 米原学校給食センター改修計画について

事務局より概要説明

委員：ふたば幼稚園は、東部給食センターからの配食であるのか。

事務局：今の建物を改修するには、2000食が限界である。現在ふたば幼稚園は、ご飯のみの持参であり、早く市内統一したメニューにしたいことと、また施設の老朽化が進んでいることから、東部給食センターからの配食としたい。

原案どおり承認

議案第54号 後援等名義使用承認について

- ・平成20年度スイミングセンターチルドレンデー（まなび推進課）

事務局より概要説明

後援名義承認

- ・エコサイクリング2008（教育総務課）

事務局より概要説明

後援名義承認

- ・第7回近江中世城跡琵琶湖一周のろし駅伝（まなび推進課）

事務局より概要説明

後援名義承認

- ・ぶんさんワクワク寄席+キッズ落語2008（まなび推進課）

事務局より概要説明

後援名義承認

- ・万祭（まなび推進課）

事務局より概要説明

後援名義承認

- ・2008年度「子育てと教育を語る湖北のつどい」（学校教育課）

事務局より概要説明

委員：教育委員会が後援するためには内容も十分把握しておく必要がある。

事務局：昨年度は、チラシの配置を認めており、後援については不承認としている。

委員：昨年並みで進める。

後援名義不承認

(チラシの配置については許可)

- ・第18回赤い鳥グループ定期演奏会（まなび推進課）

事務局より概要説明

後援名義承認

4 その他

- 平成20年度 米原市学力状況調査の分析について

事務局より概要説明

- 教育委員の研修会について

事務局より概要説明

- 次回定例教育委員会

10月28日（火）午前9時30分～

以上をもって第9回定例教育委員会を 17時45分に終了した。